

平成 30 年度

# 武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録



武蔵野市 非核都市宣言平和事業実行委員会



## 平和の日メッセージ

昭和19年（1944年）11月24日、武蔵野が初めて空襲を受けてから、74年が経ちました。

当時この地には、ゼロ戦などの戦闘機のエンジンを製造していた中島飛行機武蔵製作所という軍需工場がありました。この工場は東洋一と言われるほど大規模で、米軍による本格的な本土攻撃の第一目標となりました。終戦までに空襲は9回を数え、工場関係者200名以上が犠牲となり、周辺地域でも多くの住民が巻き添えとなりました。

武蔵野市では、この空襲で犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを次世代につないでいくために、初空襲のあった11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定しました。

今年は、都立武蔵野中央公園の拡張に伴い開園された公園内に、武蔵野の空襲や中島飛行機武蔵製作所について記録した説明板が、5枚設置されました。また、戦争遺跡を訪ね、市の歴史を知り、平和について改めて考えていただくため、新たに延命寺にも平和案内説明板を設置しました。

戦争を体験された方から直接体験談を聞く機会も大変貴重になっています。戦後70年余を経た今、私たちには、この「体験の記憶」を語り継いでいく使命があります。貴重な記憶を風化させず、未来へつないでいくため、今後も若い世代に武蔵野の空襲の歴史や戦争体験の記憶を継承しながら、平和の尊さ、戦争の悲惨さを後世へ伝えていく活動を市民の皆様とともに取り組んでまいります。

そして、原爆投下による広島、長崎の悲劇が二度と世界で起こることのないよう、武蔵野市は、国内外の自治体と連携しながら、戦争も核もない世界の実現に向けて、お互いが尊重し合う平和な社会を育む取り組みを推進してまいります。

2018年11月24日

武蔵野市長 松下玲子

## まえがき

武蔵野市議会では、昭和57年3月29日に非核都市宣言を行いました。

平成19年には、その宣言から25年を記念して、地域・平和団体、大学生、公募市民などで構成する非核都市宣言平和事業実行委員会が設置され、それ以降、戦争パネル展や映画上映会、講演会、子ども向けイベントの企画・運営など様々な平和啓発事業を実施してまいりました。また、平成23年には、中島飛行機武蔵製作所が初めて空襲を受けた11月24日を「武蔵野市平和の日」とする条例が制定されました。

平成30年度は、水島朝穂氏による『平和と安全保障における市民と自治体―避難を禁じた防空法にも触れて―』をテーマとした講演をはじめとして、夏季平和事業では映画上映会や小学生による絵本の読み聞かせ、三線の弾き語りを行い、平和の日イベントでは、戦時中・戦後の資料の紹介及びすいとんの提供や、アーサー・ビナード氏による講演『知らなかった、ぼくらの戦争』を行うなど、さまざまな平和関連イベントを通して、次世代へ戦争の実相と平和の大切さを継承していく活動を行いました。今後も市民に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えるため、戦争体験の伝承を継続し、平和への意識を高めていく事業を引き続き行っていきます。

本書は、平成30年度に行われた非核都市宣言平和事業の記録集です。

## 目 次

### I 平成30年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

- 1 憲法月間記念行事の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 夏季平和事業『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・ 1
- 3 平和の日イベント『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・ 3
- 4 研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 5 実行委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

### II 平成30年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に

- 参加した実行委員からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

平成 30 年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会 委員名簿

選出分野	氏名	団体名
市民団体・大学生	鬼 原 憲 生	武蔵野市コミュニティ研究連絡会
	吉 田 規 夫	武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会
	山 口 善 憲	武蔵野市老人クラブ連合会
	新 城 深 里	大学生
平和関連団体	牛 田 守 彦	武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会
	中 里 崇 亮	世界連邦運動協会武蔵野支部
	柴 田 フミノ	武蔵野けやき会（被爆者の会）
	田 村 恭 子	武蔵野市国際交流協会
公募委員	北 山 征 一	市内在住
	小 餅 友 子	市内在住
	島 津 好 江	市内在住
	高 木 政 宏	市内在住
	中 島 敏	市内在住

## I 平成 30 年度 平和啓発事業の記録

### 1 憲法月間記念行事の開催

#### (1) 作品募集

内容：書道・絵手紙

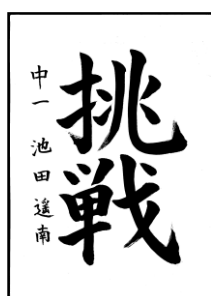
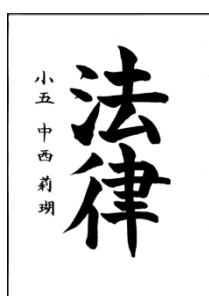
応募状況：書道 177点 うち優秀賞2点、入選16点

絵手紙 15点 うち優秀賞2点、入選3点、実行委員会賞1点

表彰：5月20日（日）の記念講演会において、優秀賞4名を表彰

展示：応募全作品を5月1日（火）～15日（火）まで市役所ロビーで展示

入賞作品については講演会当日（5月20日）に公会堂ロビーで展示



(書道・絵手紙 優秀賞作品 4点)

#### (2) 講演会の開催

日時：5月20日（日） 午後1時30～3時30分

場所：武蔵野スイングホール

内容：『平和と安全保障における市民と自治体』

—避難を禁じた防空法にも触れて—

水島 朝穂 氏

参加者：約97名



#### (3) 横断幕の掲出

「憲法月間 憲法を学びみんなでつくろう平和な暮らし」

5月1日（月）～31日（水）市役所

### 2 夏季平和事業 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

#### (1) 写真パネル展の開催（協力：武蔵野けやき会、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

内容：広島・長崎の原爆、武蔵野の空襲と中島飛行機

① 8月3日（金）～14日（火） 武蔵野プレイス1階 ギャラリー

② 8月15日（水）～22日（水） 市役所ロビー

※各会場で平和啓発DVD「武蔵野の戦争体験を語り継ぐ～平和を願って」上映

(2) 子ども向け平和イベント

8月3日(金) 午前11時～11時30分 武蔵野プレイス1階 ギャラリー

①大型絵本「かわいそうなぞう」「ちいちゃんのかげおくり」読み聞かせ

(協力:桜キッズ)

②三線弾き語り「しまんちゅぬ宝」「ていんさぐぬ花」「島唄」(協力:入江規夫氏)

参加者 30名

(3) 一般向け平和イベント

8月2日(木) 武蔵野プレイス4階 フォーラム

映画「この世界の片隅に」上映、当時の様子の証言(協力:島津好江氏)

午後1時～3時30分 参加者 95名

(4) 市民から寄せられた戦争関連資料展示

8月1日(水)～31日(金) 市役所1階 正面玄関ショーウィンドー





### 3 平和の日イベント 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

#### (1) 写真パネル展の開催

内容：武蔵野の空襲と中島飛行機（協力：武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

- ①11月9日（金）～15日（木） 武蔵野プレイス ギャラリー
- ②11月16日（金）～18日（日） アトレ吉祥寺地下1階 ゆらぎの広場
- ③11月19日（月）～22日（木） 市役所ロビー



#### (2) 共催事業 戦時中の食体験

- ①イベント内容 戦時中・戦後の体験談や資料の紹介、すいとんの提供
- ②イベント共催 みかづき子ども食堂
- ③イベント日時 11月17日（土）午前11時～午後1時  
延命寺（武蔵野市八幡町1-1-2）
- ④参加者数 62名



#### (3) 横断幕の掲出

「平和への願いを込めて 11月24日は武蔵野市平和の日です。」の掲示

- 11月1日（水）～30日（木） 市内3駅前
- 11月12日（月）～30日（木） 市役所

(4) 市内各コミセンなどにおけるミニミニ空襲パネル展

- ①展示内容 中島飛行機武蔵製作所と武蔵野の空襲
- ②展示場所 八幡町コミセン、西久保コミセン、桜堤コミセン、境南コミセン、吉祥寺南町コミセン

(5) 図書館での中島飛行機や戦争、平和に関する図書の設置

- ①11月13日(火)～26日(月) 中央図書館
- ②11月10日(土)～15日(木) 武蔵野プレイス

(6) 平和の日イベント

- ①日時 11月24日(土) 午後1時～3時
- ②場所 武蔵野公会堂
- ③内容 関連解説：中島飛行機武蔵製作所と空襲(牛田守彦氏)  
講演：知らなかった、ぼくらの戦争(アーサー・ビナード氏)
- ④参加者 201名



4 研修会の開催

- (1) 実施日 平成31年2月21日(木)
- (2) 視察先 東京大空襲・戦災資料センター
- (3) 参加者 実行委員10名、随員職員2名



## 5 実行委員会の開催状況

	日 時	主 な 内 容
第1回	平成30年4月19日(木)	実行委員会の運営等について
第2回	5月15日(火)	憲法月間記念行事、夏季平和事業について
第3回	6月21日(木)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第4回	7月9日(月)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第5回	9月11日(火)	平和の日イベントについて
第6回	10月23日(火)	平和の日イベント、研修会について
第7回	12月25日(火)	憲法月間記念行事について
第8回	平成31年3月15日(金)	憲法月間記念行事について

## II 平成 30 年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に 参加した実行委員からのメッセージ

### 武蔵野市コミュニティ研究連絡会 鬼原 憲生

平成 30 年度の実行委員会に参加して、平和事業には効果がどの程度あるのか、どのような事業が望ましいのか、人の心を動かせるのかを考えてきた 1 年でした。

平和の日イベント（平成 30 年 11 月 24 日）を例にすると、関連解説「中島飛行機武蔵製作所と空襲」は時間が足りずもったいなかった、参加者が高齢者に偏っていた等各イベントに感想はありますが、このイベントを始めとして 1 年間の各事業は工夫されて実施されています。平和に関する事業は、課題が大きく個々の事業で解決できるものではありません。そう理解しながらも講演会等に参加することで私個人には有益であるが、事業の内容が平和の推進にどの程度役立つのか、多くの方から理解と共感を得られているかと自問していました。

しかし、今は 1 年経ち憲法月間記念行事、夏季平和事業、平和の日イベントの各事業を振り返り見るとそれぞれの事業が組み合わせ良く総合化されていると思っています。成果はなかなか見える形にはなりませんが、地道に継続していくことが大切と痛切に感じています。

### 武蔵野市立小中学校 P T A 連絡協議会 吉田 規夫

PTA 会長としてこの委員会に参加させていただくまで、武蔵野市に住んでいても戦争と武蔵野のつながりを知りませんでした。

都立武蔵野中央公園には、娘を連れてよく遊びに行っていたのですが、かつてここに中島飛行機の工場があり、日本軍の戦闘機のエンジンが作られていたこと、東京大空襲につながる（B29 による）本土空襲の最初の地であることを初めて知りました。

東京大空襲戦災資料センターでの研修では、焼夷弾の特性、被害の大きさ、当時のお話も関野清雪さんから聞きました。

これからも平和について考え続け、子どもたちにも平和の大切さを伝えられたらと思います。

## 武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会 牛田 守彦

振り返ってみると、2018年度は実りが多かったと思います。二年越しでアーサー・ビナードさんの講演を武蔵野市平和の日イベントとして実施にこぎ着けたことが一つ。憲法月間行事の水島朝穂教授の講演も良かったです。もう一つは、大型パネルを作ったことでしょうか。課題はこれをどう活用していくかだと思います。戦争体験者が少なくなる中で、記憶をできるだけ継承していくことが大切になってきていると思います。平和事業のあり方も新たな模索が必要かも知れません。

## 武蔵野市国際交流協会 田村 恭子

実行委員会に仲間入りをさせていただき、2年目を過ごさせていただきました。

委員の方には、複数年度に亘る豊富なご経験をお持ちの方が多く、事業で一緒させて頂く毎に学びを頂く連続でした。イベント等での活動や、終了後のアットホームな雰囲気の中なかでは、各委員さんがどのような問題意識を持ち、平和の実現にどのようなアクションを行っているか等、多くを知ることができ感謝しています。同時に昨年度から引き続き、委員さんから直々に戦争体験、被爆体験をお聴きする機会を頂き、平和の尊さ、戦争と核のない世界の実現にむけた足元からの市民活動の大切さを今一度噛みしめることとなりました。今年度もこの機会を頂き、本当にありがとうございました。

## 公募委員 北山 征一

今年度も昨年度に引き続き、公募で実行委員をおおせつかって、この一年を終りました。

8回の実行委員会に遅刻をしましたが、何とか皆勤しましたのは、健康であったからで、今年度も多くの事業がありましたが、皆勤賞とはならず、残念でした。しかし、憲法月間の講演や平和の日イベント、特にアーサー・ビナード氏の講演は、米国人から見た日本の姿をあからさまに論じられたのは印象的でした。また講演後も講師や実行委員とお茶を飲みながら話したことが良かったです。

この一年も新しい発見が多く有り、又実行委員としてももう少し会に参加して、武蔵野市の平和を語りたいものです。

### 公募委員 小餅 友子

平成最後の「平和の日」講演会で学びました。

都立武蔵野中央公園の場所に『中島飛行機武蔵製作所』という数万人の従業員、動員学徒や女子挺身隊の学生が働く軍需工場があったことをご存知ですか？工場に9回の空襲があり、武蔵野市民が悲惨な体験をしたことをご存知ですか？アメリカ生まれの詩人アーサー・ビナードさんが、日本の語り部の話をまとめた著書『知らなかった、僕らの戦争』を軸に、戦争中には知りえなかった日米の動きを語り、「どうせ変わらないという声に負けず、諦めず、戦争や核についてみんなで訴え続けることが重要」との力強いメッセージも、残してくれました。

70年間、死者も、戦争で苦勞する市井の人も作らなかった、この幸せが、元号が変わっても続いていくことを改めて願うばかりです。

### 公募委員 島津 好江

私達の暮らしの中では、いつも平和を願いつつ過ごしてきました。「平和と核」を改めて考えることもなく過ごしてきて、この非核平和委員会に出席し考える機会を得て、感謝し人々に伝えなければならないと思いました。

平和は自然を守り太陽、月、青空、泉の水、緑の大地、大海地球そのものを壊さず大切に守り、後世に残さなければいけない。

日本は七十五年前にアメリカやその他多くの国と太平洋戦争を起こし、一九四五年に核で終戦を迎え、国民は数知れない犠牲者を出し悲惨な思いをしました。絶対にくり返えしてはならない。人と人のために。平和を守りぬき心豊かな暮らしをつづけましょう。

## **武蔵野市非核都市宣言**

戦争の惨禍を防止し、恒久平和を実現することは、全人類が切実に念願するところである。

核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、とりわけ核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。

武蔵野市は、平和を希求する世界連邦に関する宣言都市として、人間が人間を滅ぼす危険を防ぎ、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、最大限の努力を傾注するものである。

ここに、われわれは、平和のために貢献する決意を表明するとともに、武蔵野市が非核都市となることを宣言する。

昭和57年3月29日

武蔵野市議会

## **世界連邦に関する宣言**

武蔵野市は、世界の恒久平和と人類永遠の繁栄を保障する世界連邦の建設に同意し、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく世界の新しい秩序の実現を希求する。

人類最初の原爆被災国として、また戦争放棄を憲法に明記した国として提唱し得る最適の立場にあることを確信し、この宣言を行ない、他の宣言都市と相携えて、世論を喚起し、これを国政に反映せしめ、速やかに国家宣言を行うとともに、進んで現行の国連憲章の改正により世界連邦の実現を期するものである。右宣言する。

昭和35年6月28日

武蔵野市議会



平成 30 年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録

発行 令和元年 7 月

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会

武蔵野市市民部市民活動推進課内

武蔵野市緑町 2 丁目 2 番 2 8 号

電話(0422)60-1829 (直通)